

町中の悲鳴に！



昔よく耳にした「地震・雷・火事・おやじ」とは、世の中で特に「怖い」とされているものを順にならべて調子よくいったことばです。地震や雷はもちろんです。火災は私たちの日常生活と常に隣り合わせの恐怖です。気温も低くなり各家庭では、こたつやストーブを使用することが増え、火災の危険性が高まる時期でもあります。ここでは、市内における火災の状況や火災を防ぐポイント、救急搬送状況などを紹介いたします。

市内の火災発生件数

年度	件数	内 訳
平成 22 年	11	内、建物火災 7 件
平成 23 年	14	内、建物火災 7 件
平成 24 年	10	内、建物火災 6 件

※平成24年は10月31日現在

火災の傾向

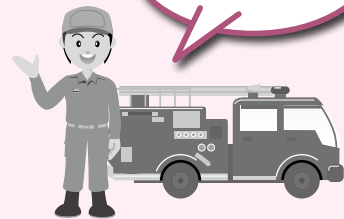
火災件数は、過去の件数と比較してもあまり変動はありませんが、建物火災の件数は増加傾向にあります。

また平成24年については10月31日現在で、既に建物火災は6件であり、11月から12月にかけて建物火災が多く発生



住宅防火いのちを守る7つのポイント

3つの習慣 4つの対策



3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



住宅用火災警報器

市内の救急状況

年度	件数
平成 22 年	1,435件
平成 23 年	1,504件
平成 24 年	1,346件

※平成24年は10月31日現在

その小さな火が

救急の傾向

救急件数は、過去の件数と比較して増加傾向にあり、平成24年については10月31日現在で、既に1346件発生しています。市民の生命を守るために欠くことのできない救急搬送ですが、なかには急を要するほどの状況ではなく、あたかもタクシー代わりを使用しているケースもあります。



あなたの家は大丈夫？

住宅用火災警報器の設置

火災を防ぐ7つのポイントでも紹介している「住宅用火災警報器」皆さんのお家では設置していますか？

ご存じの方も多いですが、消防法の改正により、新設住宅では平成18年6月から、既存住宅では平成23年6月から設置することが条例により義務付けられています。義務化された設置場所は「寝室」と「階段（寝室が2階以上にある場合）」です。岐阜県が発表した住宅用火災警報器の設置状況の推計結果（平成24年6月1日時点）では、県平均で71・3%の住宅が設置済みであると推計しています。ちなみに、下呂市は79・4%（県内4位）の推計設置率です。

平成23年住宅火災発生状況【県内】

住宅火災件数	死者数	うち65歳以上	逃げ遅れが原因と思われる死者数
226件	31人	23人	12人

また、右の表は平成23年の県内での火災発生状況ですが、「逃げ遅れが原因と思われる死者数」が12人あり、警報器を設置していれば助かった命かもしれない。家族の命を守るため、隣近所に迷惑をかけたためにも必ず警報器を設置しましょう。

防火ポスター市内巡回展示

下呂市防火管理者連絡協議会では、市内小中学校の児童、生徒から募集した「防火ポスター」のうち、入選作品（8点）を掲載した防火カレンダーを作成しました。防火カレンダーは4500枚を作成し、協議会の会員をはじめ市内各小中学校の児童・生徒・園児らに配布します。なお、ポスター入選作品は次のとおり市内において巡回展示します。

【市内巡回展示】

▽11月26日～12月6日・下呂郵便局
 12月6日～17日・益田信用組合本店
 12月17日～27日・高山信用金庫下呂支店
 12月27日～1月7日・下呂ショッピングセンターピア▽1月7日～18日・金山振興事務所▽1月18日～30日・小坂振興事務所▽1月30日～2月12日・馬瀬振興事務所▽2月12日～25日・下呂交流会館アクティブ

【消防本部・予防課】



防火ポスター展・下呂市長賞
 岐阜県消防設備保安協会会長賞
 杉山 蒼さん（下原小5年）